



あさひかわ応援寄附金 (ふるさと納税)からのお知らせ

市では、まちの魅力を広くPRするとともに、まちづくりの財源を確保するため、ふるさと納税の取組みを推進しています。今回は、その取組みの一部と現状を紹介します。【詳細】税制課電25・5604

寄附金の主な使い道 (令和3年度) ※同2年度までにいただいた寄附金も活用しています。

旭山動物園

えぞひぐま館の建設や施設の改修に活用

6億402万5,000円

環境保全活動の推進

外来種の生息数拡大防止のための防除活動や、生物多様性セミナーなどの開催に活用

739万5,000円

高齢者生きがいづくり

高齢者の社会参加や生きがいづくり、生活援助等の事業に活用

6,851万9,000円

デザインを活用したまちづくり

デザインを広めるイベントや子供デザイン教室、講習等の事業に活用

546万7,000円

旭川の魅力を地場産品でPR!

市では、一定額以上の寄附をしていただいた市外の方へ、感謝の気持ちを込めて、寄附金額に応じた返礼品をお送りしています。返礼品は、事業者の皆さんから募集した商品の中から選定しています。

旭川市が誇るブランド豚「大雪さんろく笹豚」



東光8の8に店舗がある大雪山麓社・代表取締役の藤井泰樹さんにお話を聞きました。

メイドイン旭川へのこだわり。その思いがブランド豚として形になりました

今から16年前、旭川初のブランド豚をつくるべく、試行錯誤して笹豚にたどり着きました。笹豚とは、クマザサを飼料にして育てられた豚です。古くからクマザサは人の健康に良いといわれており、臭みやあくが少なく、脂身の甘さが特徴の良質な豚肉に仕上がりました。

返礼品として掲載して7年が経ち、リピーターも増え、旭川産ブランド豚を全国にお届けできるのは大変光栄です。ふるさと納税をきっかけに、新たなアイテムの考案など、販路拡大以外の面でもメリットがありました。

これからも旭川唯一のブランド豚を全国の方にお届けし、旭川市を知っていただくきっかけになれば幸いです。



大雪さんろく笹豚のロース肉

収支は黒字を維持!

令和3年度は、過去最高となる延べ12万9,946件、19億2,654万8,519円もの寄附をいただきました。寄附金額から、ふるさと納税のシステム利用料や返礼品代などの事務経費10億1,652万8,392円と、市民税の減収額を差し引くと、4億1,287万4,084円の黒字となりました。

なお、旭川市民が市外へ寄附したことによる市民税の減収額は、4億9,714万6,043円と推計されます。

令和3年度ふるさと納税の収支



あさひかわ応援寄附金の情報を発信中

最新情報は市庁舎やFacebook、Instagramで随時発信しています。全国へ旭川市のふるさと納税をPRするために、ぜひ、フォロー等のご協力をお願いします。



市庁舎あさひかわ応援寄附金ページ



Facebook



Instagram